



よろこび・かんしゃ・あゆみ



カトリック玉里教会小教区発足 50 周年記念 2023 年 7 月 1 日

献堂 50 周年記念 2024 年 1 月 13 日

玉里小教区発足 50 周年に寄せて

カトリック玉里教会

第 13 代主任司祭 泉 浩二神父



着任2年目、玉里教会共同体の皆さんといっしょに小教区発足 50 年のお祝を迎えることができることをうれしく思います。そして 50 年の歩みを支えてくださったすべての皆さんに感謝します。特に歴代の教区長、主任司祭、そしてすでに父なる神のみもとへと旅立たれた教会関係者の皆さんに感謝、そして喜びを分かち合いたいと思います。

50 年前、鹿児島市内に紫原教会、吉野教会と次々に新しい小教区が誕生しました。それは大きな実りのときでした。1549 年 8 月 15 日 聖フランシスコがこの地に上陸し、蒔かれた神のみことばが長い時を経て、実りをもたらすことになりました。50 年の記念を迎える今を生きる私たち。変わらない神の思いが伝えられ、その思いに応えた 50 年前の諸先輩の思いをしっかりと見つめ直し、今を生きるものとして、これからを生きるものたちといっしょに歩いていく機会になればと思います。

50 周年を意識しながら一人ひとりが準備してきたように、50 年の喜びと感謝をしっかりと心に留め、その思いを人とのかかわりの中で生きていく玉里小教区でありたいと思います。

2023 年 6 月吉日



玉里教会50年の歩み

1970/12/6 玉里布教所として成相明人神父のもと
約20名の信徒でスタートする。
1972/4/1 松森 孝郎神父着任






成相明人神父






松森孝郎神父



初年度 信徒数	1973/7/1 188名	初代主任司祭	初代総代 門田 明氏	主な出来事
				7/1玉里小教区発足 人々の光に！聖パウロに捧げられる.. 糸永司教を中心にデフ主任司祭をはじめ田辺神父、松森神父の 共同司式で新しい小教区としてスタートした。
2年度 信徒数	1974/4/1 157名			74/1/13 糸永司教はじめ11名の司祭と 約200名の信徒による新聖堂の献堂式のミサが捧げられました 4/2 東條神父 助任司祭として着任
4年度 5年度	1976/4/1 1977/4/1			
6年度 信徒数	1978/4/2 157名			ルルドは教会の一つの窓口 デフー神父 教区報記事より ローマを除いてキリスト教世界の、第一の巡礼地であるに違いない 昨年ルルドを訪れた人々は300万人にのぼり、その内60万人は団体客 教会誌『たまざと』 発行 玉里教会の教会誌 たまざとが10月1日に発行されました。この編集は青年会 編集部が担当し毎月発行の予定になっている。 5/31デフ神父様休暇によりベルギーへ帰国 4/1 小川靖忠神様父助任司祭として着任
7年度	1979/9/1	2代目主任司祭		

信徒数	215名	A・ガレアニ神父着任		A 神父・カ・レアニ	日本文化を織ることこそ！ ガレアニ・アレキサンドル神父 昭和9年8月10日ローマ郊外のアルパーノに生まれる、昭和33年司祭叙階翌年来日以来、大阪・宮崎で宣教司牧に従事、来日以来20年のベテラン宣教師である。散歩が趣味おっしゃる物静かな雰囲気的神父様、玉里教会に赴任して2カ月、教会の印象を訪ねてみると、教会は若いし活気がある、求道者が12名もいる、今からの日本では昔のような集団改宗は見込めないと思う。日本人に布教するためには日本の文化を深く織る事によって、その中に見出される福音への芽を育てる事がひつようだ！
8年度	1980/10/11	3代目主任司祭		三 小代 川目 靖主 忠任 神司 祭	9/18デフ神父様司教館付け 4月 ガレアニ神父様休暇によりイタリアへ帰国
8年度	1981/4/1	信徒数	218名		”81/2/23教皇ヨハネ・パウロ2世来日、雪の中多くの信徒が長崎巡礼に参加！
					新年度の信徒総会で、前年度の報告や新年度の行事予定について話しあわれた。今年は恒例の行事に加えて、信徒間の一致を深めるための遠足、教会学校強化の為の教会巡りや夏季合宿、地域に教会の存在を印象付ける為のバザーや講演会などが新たに計画された。
9年度	1982/4/1	4代目主任司祭		四 永山 主任 幸弘 神司 祭	10月より小教区報『信仰と生活』発行 小教区財政の正常化を強化
10年度	1983/4/1	信徒数	232名		教会憲章を読む会発足..婦人のため月1回・壮年のため月2回の勉強会
11年度	1984/4/1	信徒数	248名	2代目総代 築 隆良氏 本田千秋氏	3月29日大口明光学園校長シスター吉田文子氏を招き玉里教会婦人部主催で研修会を開催、市内各教会から30名余りの夫人が参加し、子供教育の本来のあり方を学習、又 各人の悩み、体験、現状などを話し合った。
12年度	1985/4/1	信徒数	272名	3代目総代 坂本喜久雄氏	
13年度	1986/4/1	信徒数	289名		教会堂外装、屋根補修工事
14年度	1987/4/1	信徒数	264名		

15年度		4-6小隈憲士神父着任		
	1988/7/31	5代目主任司祭		
信徒数	252名		4代目総代 佐藤 利男氏 本田 千秋氏	
16年度	1989/4/1			
信徒数	257名			
17年度	1990/4/1			
信徒数	254名			
18年度	1991/4/1			
信徒数	255名			
19年度	1992/4/1		5代目総代 浜元 加氏 土田 充義	
信徒数	251名			
20年度	1993/4/1			
信徒数	256名			
21年度	1994/4/1	6代目主任司祭	6代目総代 門田 明氏 土田 充義	
信徒数	253名		郡代山目主任 健次郎祭神	
22年度	1995/4/1			



6/29 宣教100周年記念ミサ参加者ホームステイ受け入れ(奄美)
6/30 純心学園にて宣教100周年記念ミサ

信徒総代一言 勇気を持って福音宣教を！

’93年7月 小教区発足20周年

8月6日夕方からの集中豪雨により多量の泥水が聖堂内に浸水し約1mの高さまで達した。祭壇はもちろんのこと地下納骨堂も水没した。また、司祭館も約50cmの床上浸水、全国から義援金として約960万円が届き、建物、備品などの補修に充当する

信徒総代一言 初代教会の若々しい活力を！

女子の侍者奉仕者をはじめ採用する！

23年度	1996/4/1	7代目主任司祭	7代目総代 土田 充義氏		7代目主任司祭 靖忠司神父	信徒総代一言 一人一人が信徒総代兼しもべ！
24年度	1997/4/1					”97/11/30小川神父様叙階25周年を祝う
25年度	1998/4/1		8代目総代 森 忠親氏 有川 弘文			糸永司教様による25周年記念ミサ式典後お御堂内にて祝賀会をする 信徒総代一言 雑木や小動物も育む森のような教会！
26年度	1999/4/1					”99年9月 ザビエル記念聖堂カテドラル献堂式 10/11ザビエル渡来450年祭 鹿児島アリーナにて約5600人が参加する ”99年12月 大聖年開幕
27年度	2000/4/1		9代目総代 有川 弘文氏			”00年11月 カテドラル巡礼ザビエル賛歌を合唱しながらザビエル教会まで歩く 信徒総代一言 21世紀へ向けて新たな出発を、より魅力ある玉里教会づくり！
28年度	2001/4/1	8代目主任司祭			8月 サンタマリア神父手作りの、恵みの泉池完成 9月 待望の鐘楼完成 聖堂内空調設備新設完成、同時に元機械室は憩いの場に台所も広くなる 9-10月サンタマリア神父様休暇によりイタリアへ帰国 (主任司祭留守中は、鹿屋よりマルコ神父様とレナート神父様が	
29年度	2002/4/1					
30年度	2003/4/1				8代目主任司祭 サンタマリア神父	   <p>マルコ神父 レナート神父</p> <p>休暇でイタリアに帰省時のお土産として持ちかえった 木製の聖母像</p>
		<p>聖ペトロ・聖パウロ (1850×790) 純心聖母会 シスター佐藤 ヒロ子 模写 玉里カトリック教会30周年記念として、“03.03.25完</p>				”03/6/29 30周年記念ミサ&祝賀会 糸永司教様による堅信式



ミサを大切にしよう! +

玉里カトリック教会の皆様、教会の30周年おめでとうございます。人間の寿命にたとえると、30歳は人生の旅路のもっとも美しい、もっとも素晴らしい、また一番力を発揮できる年齢に当たります。玉里教会はどうでしょう？美しく、素晴らしい力を見せているでしょうか？季節にたとえると、今、教会は春の終わりごろの時期だと思えます。もう沢山の実を結ぶような時期に来たのではないのでしょうか。さあ皆さん、共同体の交わりのめぐみを味わい、一つのパンを分かち合って宣教への新たな出発の時とすることが出来ます様にマリア様と聖パウロの御取次ぎを願いながら



玉里小教区発足30周年をこうして皆様方と一緒に祝いできますことをうれしく思います。今後とも信仰を深め、財政的にも自立した教会として大いに発展していくことを皆様と一緒に祈り願いたいと思います。

信徒総代 有川 弘文

金童木堂



皆さんの奉仕作業により祭壇も天井も明るくきれいになりました



31年度 2004/4/1

10代目総代
藤山喜和義
氏
崎山 明氏

年間スローガン

【共同体の交わりを大切に】

32年度 2005/4/1
信徒数 267名

2005/4/2 教皇ヨハネ・パウロ2世死去

4月8日 19時より玉里教会にて追悼ミサ実施36名参加

4月20日 第265代教皇 ベネディクト16世誕生

5月度連休を利用し聖堂天井工事を実施

天井張替え工事&照明器具取替え工事

12/3 ザビエル様記念日にあわせ鹿児島司教区に待望の次期司教決定

パウロ 郡山健次郎司教 叙階

2006/1/29 純心学園体育館にて叙階式 約1800名参加

聖堂1階フロア分のフローリング工事&壁面クロス工事实施(ザベリオ会)

2006/1/28 夕、ザベリオ会管区長様歓迎会

33年度 2006/4/1

2006/10/1



画 モラレッティー神父様
『おつげの聖母』『ルカ一章 26 ~ 38』

受肉の告知

この絵の場面はナザレの聖マリアの前に大天使ガブリエルが現れ「神の子」イエスを身ごもる事を告げる。
マリアは「私は主のはしため、おことばのとおりに。」と答える場面です。

5月7日 糸永司教様感謝の宴 サンロイヤルホテル

2007/2/10~12 聖堂正面&祭壇床工事

4月8日復活祭遠足 吉野公園にてサンタマリア神父様送別会を兼ね
約60名の参加で楽しんだ。

次期主任司祭は大きな方との事 ザベリオ会の補助金
約250万円を頂き、司祭館の食堂をリフォームしました。

34年度 2007/4/1

9代目主任司祭

ロベルト神父



ロベルト・スガルボッサ神父着任 4/10

年間スローガン 【ザビエルの福音宣教に学ぼう】

5/17(日)
4名の乳幼児授洗式

小学生日曜学校始まる



秘蹟の司牧の大切さを伝える！

- ①7つある秘蹟(洗礼、聖体、ゆるし、堅信、病者、叙階、婚姻)のうち特に洗礼、結婚、病者の秘蹟について説明がなされた
- ②秘蹟とは神の恵みを人々に注ぐことであり人々に対する神の呼びかけの印である
- ③どの秘蹟を受ける場合も受けるまでの十分な準備期間が必要です。
- ④幼児洗礼の場合は式の約1ヶ月前に両親との打ち合わせをし、ご両親と代父、代母は洗礼式までに2回の講座を！大人の場合約1年の準備講座が必要
- ⑤初聖体、堅信式も長い準備が必要であり、それぞれ深い繋がりがある
- ⑥結婚式の場合は式の約3ヶ月前には相談をして頂きたい、式までの間に4~5回の結婚講座を実施する
- ⑦病者の秘蹟は臨終の時だけの秘蹟ではありません。
重い病気の時、入院した時、大きな手術の前などにうけることがのぞましい、心も体も元気になるようにとの秘蹟だからです。生涯にわたって年齢に関係なく何回でも受けることが出来る秘蹟です。
全世帯郵送による実態調査後信徒名簿作成

9代目主任司祭

ロベルト・スガルボッサ神父

ロベルト神父様叙階記念日

9月28日(金) 32周年

神父様のご希望により当日は夜のミサのみとし、お祝は9月30日の主日のミサの後茶話会にて行います。

Love sweet's



神父様と藤山義和さん 9/23の「ママの店」にて

35年度 信徒数	2008/4/1 266名	
2009年聖パウロ年巡礼ミサ		
36年度 信徒数	2009/4/1	
37年度 信徒数	2010/4/1	11代日総代 藤山義和氏
38年度 信徒数	2011/4/1	
39年度 信徒数	2012/4/1	
2012/4～	ロベルト神父休暇	
	寝占神父教会管理	として着任

玉里教会葬儀規定作成
レクイエム会発足 (143世帯266名 不明12世帯14名)

祝賀会はザビエル教会へ移動

祭壇には司教様を中心に、桃園終身助祭、久保終身助祭、レデンプトル会からハンマ神父とW・フリチエル神父、そしてロベルト神父の計6名が着座。小さな聖堂に多くの信者が集い二階集會室まで溢れる程でした。ミサの最後に司教様の活動に役立てて頂くようにと、ママの店で集めた献金を信徒総代から手渡されました。これを受けて司教様はアジア基金へ使わせて頂くと約束されました。

ミサ後の祝賀パーティーは玉里教会では収容人数に限界があるため、会場をカテドラルに移し、

聖パウロの回心の日にあたる1月25日『聖パウロ年巡礼ミサ』には姉妹教会からの大勢の信者が集い、午前11時より郡山司教様司式のもと行われた。

午後一時から行われました。このパーティーは司教様の霊名（聖パウロの回心）のお祝と玉里教会の新年会を兼ね、ザビエル教会の了解と協力のもと会場をお借りし、祝うことができました。

パウル油

たくさんの方が集いミサに預かった

ザベリオ会本部 大阪府堺市へ行かれたのち交通事故にあうその後イタリアの総本部へ帰り治療に専念…

教皇様は 2012年10月11日より2013年11月24日まで信仰年開催を発表

聖パウロ年巡礼ミサ 一月二十五日(日)

司教様と共に祈る




2013/2/13 着任

10代目主任司祭丸野六郎神父

40年度 2013/4/1

信徒数



丸野六郎神父

10代目主任司祭丸野六郎神父

ようこそ！ 丸野六郎神父さま

丸野六郎神父さま プチ情報

† 1941年6月23日生まれ
(□年=今年の年男)

† 1977年3月19日
□ 東京イグナチオ教会で司祭叙階
(今年で36年)

† 洗礼名=F. ザビエル
† 好きな食べ物=肉類
† 嫌いな食べ物=鶏肉
(但し、地鶏の炭火焼はOK)

※月、火、木、金は、純心短大と純心大学に教えに行くので9時から夕方まで不在。
※水曜日は目の治療のため、谷山の眼科に行く。



台所を清掃中のご婦人たち

丸野神父が決まり大掃除の日(日曜日)は、職員で行います。年間の閉まりは、役員や部会、やがてホトリ、たが、コリ、すか、準備する。

司祭館を大掃除

『明るく、楽しく、潔く。』をモットーに！

2月17日(日) 赴任早々主日のミサの日頭、「まず玉里教会に来て最初に教会の入口を明るくしたいと模様替えさせていただきました。司祭館の荷物はまだ手付かずですが、教会を第一にと思っています。」と挨拶。当日は司牧評議会に出席され、司牧方針や典礼、体制など今後の玉里教会の運営について、役員はじめ各班の代表者と長い時間分かち合われました。

① 司牧方針は、明るく、楽しく、潔く、と澄み切った感じ。

② 「信仰年」としては司祭、信徒それぞれ独自の宣教に召されていることを自覚

してもらいたい。(マタイ 28章16節以下参照のこと) 信者は全員がキリストから何らかの形で招かれている。ザビエルさまの同志であるイグナチオのマジスの精神(もつともつと)で遂行してもらいたい。

玉里の司祭館を識別し、①1月の決定日、②平日の掃除、③玉里の優先課題、

たまざと 情報ひろば

2月17日の司牧評議会から

聖週間

3/24(日) 枝の主日

黙想会・共同回心式

□ †ゆるしの秘蹟

丸野・山口神父様

3/28(木) 主の晩餐 19:00

3/29(金) 主の受難 19:00

【大斎・小斎】

3/30(土) 復活徹夜祭 19:00

3/31(日) 復活祭 9:00

新年度について

† 信徒総会日程

4/21(日) ミサ後

* 事業計画や予算案など引き続き各班、グループで検討し、3月司牧評議会にて協議。

その他

† 合同班会(新年会)の会費は、収支バランスのため次回から女性600円にすべき。

† 司牧評議会議事録の公開、掲示を!

† 聖書と典礼パンフの部数見直しや水道代の節約を!

† 維持費納入状況など、財務報告を折々にしてもらいたい。

† 環境美化のための予算を付けてほしい。

† ママの店の益金を川口終身助祭の赴任先に寄付してはどうか?

† 合同班会(新年会)の責任者を前日、当日に分けて二人にしたい。

↑2月の班会を個人宅で実施したところ、環境が変わったこととみことばの分かち合いで本来の班会を実感でき、大変良かった。

きること、
きないこと
たい。

司牧評議会
た第1日曜
ミサ、第2
聖体賛美式
る。
ミサは、月
時30分、土
分とする。

父様の着任
、司祭館の
2月3・10
に信徒全
ました。半
切られてい
カビ臭く灰
だらけでし
週かけて何
様をお迎え
を整えまし

9/1主任司祭提案で臨時総会開催！今後の玉里教会の在り方について！善き牧者幼稚園に売却し

移転先を探す方向性が提案され、多くの信徒は反対した。結果 9/8敬老の日を最後に退任！

新しい年は希望の年に

合同班会を兼ねた新年会には、郡山司教様をお招きし、昨年末に催された、大司教歓迎レセプションにて用意されたブレゼンテーションや、旧ザビエル聖堂献堂式の写真を披露。正午過ぎにはパルマ在住のロベルト神父様から、国際電話にて新年のご挨拶をいただき、盛り沢山。皆が新年に希望を持てる会と成りました。

郡山司教様と
ロベルト神父様が
新年の挨拶
1/19
日曜日

1月19日のミサ後、新年会を兼ねた合同班会に、郡山司教様と寝占神父様をお招きし、藤山信徒総代より「今年役員改選と班の再編成と課題があり、みなさん



ロベルト神父様からの電話に対応する郡山司教様

の知恵と協力を望みます。「と挨拶。今年
はちよ
つとり
ツチな
水炊き
を囲み
ながら、
藤山喜
和義さ
んの協
力で用
意され
た大型
TVに、
昨年末
に催さ
れた大
司教様
迎会の



第266代 教皇フランシスコ 2013/3

2014年4月より寝占神父様紫原教会へ

新 スローガン決定

41年度 信徒数	2014/4/6	小隈神父様着任
	251	



11代目主任司祭小隈神父

12代目総代
森 忠親氏
園田 健太氏

すべては主とともに ～全員参加の共同体へ～

参加者の意識と関心高く

テーマ 「班制度を考える」

着任早々、小隈神父様は信徒からの強い要請に応え班長研修会を企画。6月13日（金）・20日（金）の夜7時から8時30分に四役を始め各班の正副班長が参加しました。参加された信者を代表して森信徒総代からレポートを寄せていただきました。

玉里小教区班長研修会



ご長寿をとおもにお祝い

9/14ミサの中で神父様から75歳以上の方々へお茶と敬老カードが用意され、神父様自らお一人一人のところまで歩いて行かれ手渡されました。 撮映 園田 健太

第2バチカン公会議 公文書を学ぶ 毎月 第二2日曜日ミサ後

屋上防水工事&外壁塗り替え工事・約200万 程かかりましたが見違えるほど綺麗になりました

42年度
信徒数

2015/4/1

43年度
信徒数

2016/4/1

252

44年度
信徒数

2017/4/1

243

聖堂の窓を障子が被い 念願の司祭館浴室工事が完成!

みんなさん既にお気付きかと思いますが、教会の環境整備が、壮年有志の力でまた一つ成果を結びました。

聖堂の窓の改装工事は、藤山喜和義さんを中心に壮年が集まり8/24に完成。
司祭館浴室も8/25から約1週間で完成しました。

神父様から暖かい湯船に浸かり体の疲れが取れます。ありがとうございます。とコメントいただきました。



工事の様子を玉里教会のフェイスブックに動画をUP。



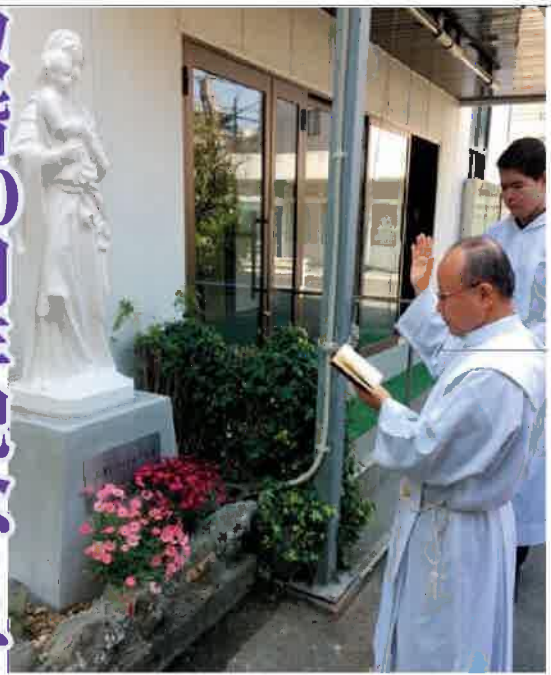
聖堂補修工事

工事期間予定

10/13 ~ 11/1

8月の台風で被害を受けた鐘樓の補修工事と合わせて聖堂の防水と窓ガラスの交換工事が行われました。10/18・23日曜日には奉仕作業も行われました。

叙階30周年記念ミサ マリア像移設完成



祝別されるマリア像 (左) 3/25 (ミサ後)

四旬節を迎えた3月は21日に小隈神父様の叙階30周年記念ミサと祝賀会がありました。当教会外か

沢山の信者さん祝に駆け付ける中、様は多少優れた調をおしてミサ

をたてて下さいました。

ピク

12:00

13代目総代
崎山 明氏
本田 正明氏

また、25日の『枝の主日』には移設が完了し見違えるように化粧直しされたマリア像の祝別が行われました。マリア像の設置された池の跡は枯山水風の花壇に仕上げられ、マリア像の足下は可愛い花で飾られました。さて、お御堂の後部、お音月も改装され、集会室が広々と使い安いです。スになりました。これは営繕委員の藤山喜和義さんを中心にした壮年有志の尽力です。

45年度 信徒数	2018/4/1 240
-------------	-----------------

管理
者として
ピアン
ネ神父
着任



聖堂地下倉庫棚改修工事

バザーの翌週
7/10(日)の
午後、壮年とそ
の家族総出で地
下倉庫の棚の修
繕が行われまし
た。工事責任者
を藤山喜和義さ
んが務め、設計
ます。

造作一手に引受
けられ、その指
示を受け作業を
進めました。
改修作業は地
下階段と壁、畳
の部屋の棚の整
理を予定してい

聖週間のミサ中に祭壇右全面から大量のシロアリ発生
有志の皆さんで解体したところ大変な状況になってました。
皆さんのお力で奇麗に再現出来ました。



46年度
信徒数

2019/4/1

240

47年度
信徒数

2020/4/1

237

12代目主任司祭
ピアンネ神父



14代目総代
藤山喜和義
氏
副総代
川上知明氏

12代目 主任司祭ピアンネ神父

ロベルト神父 イタリア帰省後、療養中に70歳で帰天 2020/1/24

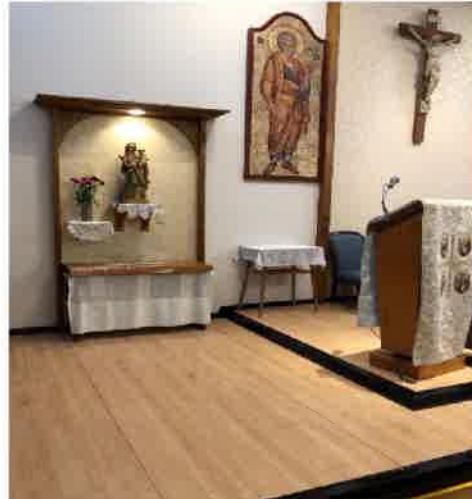
玉里教会祭壇改修工事



2020/4/29 解体作業



4/29 解体作業開始&下地作 5/3 フローリング張り



5/4 コーキング処理&仕上げ作業 見事完成！お疲れ様でした。

電照看板亚克力板取り換え

2020/4/6



48年度
信徒数

2021/4/1



2021年9月19日・20日の壁修復工事の様

49年度	2022/4/1	13代目主任司祭
信徒数		泉 浩二神父 着任



泉浩二神父

13代目主任司祭 泉浩二神父

15代目総代
藤山義和氏
崎山弥生氏

信徒名簿更新60部配布

司祭館玄関の雨漏り改修工事 22年5月



2022/5/3 雨漏り改修工事



第1回 玉里小教区発足50周年記念事業実行委員会始まる22年10月7日 初金ミサ



教会右側に移設された金柑



広々となった駐車場



祝叙階三十周年記念

3/25

泉神父様は3月25日(土)叙階三十年を迎えられました。翌26日の主日のミサ後、藤山義和信徒総代よりお祝の言葉と、崎山弥生副総代から信徒を代表して大きな花束を手渡し皆で讃えました。お祝の会は後日、復活祭の遠足にて計画しています。



4/9 復活祭ミサ後 吉野公園にて主任司祭叙階30周年の祝いを兼ねて...

久しぶりの復活祭遠足、お天気にも恵まれ30名余りの方が参加されました。主任司祭の叙階30周年お祝い・ビンゴゲームやカラオケ大会、途中 吉野教会の皆さんも参加されとても賑やかなひと時を過ごせました。来年はもっと大勢の方々が参加されたいので



第3代 1980年10月11日から1982年3月

第7代 1996年5月5日から2001年3月26日

主任司祭 小川靖忠神父



小川靖忠神父

「いつも、ともに一歩前に」

献堂 50 周年おめでとうございます。

たくさんの楽しさ・喜びとともに、幾多の苦しみ辛さを乗り越えて成長してきた 50 年。また、たくさんの方々が来ては去り、去っては新たな人に恵まれて支えられ、今日まで来た 50 年。すべては宝物です。とはいっても、宝物を眠らせていてはもったいない。

さあこれからどうすれば……。問題ばかりを指摘するのではなく、「こうしたい」「こうありたい」という前向きな肯定的な提言を分かち合い、ひたすら前を目指したいものです。「批評する」ことはあっても、「非難する」ことは、前に進むためには何の役にも立たないでしょう。

主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。(第二コリント一・二章九節)神の前にあつてはみな、等しいわたしたちです。ともに一歩前に!!

第4代 1982年4月から1988年3月

主任司祭 永山幸弘神父



永山幸弘神父

「共に歩む(シノドス)教会へ」

玉里教会の皆さん、創立 50 周年おめでとうございます。新たな一歩ですね。

これからの教会は一人一人の自覚と自主的な意識、自立と責任を持つ信徒の交わりによって発展することになるだろうと思っています。皆さんに期待しています。

玉里教会は私にとって宣教の基礎となるようなことを体験したところであり、ありがたく感謝しています。その中の最も代表的なことが、市民講座「生き方を考える集い」で、玉里教会がこの講座の最初の教会になりました。それまでになかった、市民に身近で、人生において重要な課題を直接取り上げ、講話と分かち合い形式で行う、1 時間 30 分の「市民講座」を開設しました。玉里の地域は学校が多く、一般の住民が少なく、宣教的には難しい地でした。私は 6 年間、この教会で働きましたが、宣教が伸びないことに悩みました。教会着任から 4 年を経た頃、「人間ゼミナール」的な講座の発想が生まれ、5 年目にしてようやくこの講座が誕生しました。玉里教会の皆さんの働きのおかげで、最初の講座に参加された未洗者が 25 名という驚くべき集会となったことを覚えています。

玉里小教区がこの講座の誕生地であること、その後もザビエル教会でも継続して多くの実りがありました。みなさまに心から感謝しています。

第5代 1988年4月から1994年3月
主任司祭 中野裕明神父(現在の鹿児島司教)



中野裕明神父

「初めての主任司祭」

玉里小教区発足 50 周年おめでとうございます。私は、5 年間そこで奉仕しましたので時間的には 10 分の一の貢献となります。しかし、私の司祭生活では、初めての主任司祭体験、という事で 50 倍ぐらい意味のある期間でした。ローマ帰りで頭は理論的構想で固められていて、月曜日から金曜日までは教区本部とラサール通いで、教会には土日しかいませんでした。そんな私でも、楽しく過ごせたのは、同年配の信者さんや信仰厚い方々、それにたくさんの子供たちとの出会いでした。世間に疎い私は、社会経験豊かな諸先輩方から、たくさんの有益な事柄を学びました。心から感謝しています。

教会学校の子供たちとは幸いスタッフにも恵まれて、鹿屋の敬愛園、入来教会でのキャンプ、クリスマスの刑務所慰問等、貴重な体験もできました。お隣の幼稚園での毎月のお誕生日会では、下手なギター弾いて歌のプレゼントだと言ってごまかしていました。毎週のラサールの中学 3 年生のクラスでは、時にはちゃんとした授業をやりましたが、多くはイエスの生涯や聖書にまつわるビデオを見せて胡麻化していました。

玉里生活の極めつけは、1992 年 8.6 水害でした。その修復を終えて玉里を退去しました。

第6代 1994年4月から1996年4月16日
主任司祭 郡山健次郎神父(名誉司教)



郡山健次郎神父

玉里教会での 2 年間

玉里教会に赴任したのは 8.6 水害の翌年で、楽しく充実した 2 年間だった記憶しかありません。沢山の思い出がありますが、一つだけ紹介します。

真っ先に思い出すのは、健君の電撃侍者拒否事件です。「神父さんボク 4 月から侍者しないからね。」「えっどうして?」「中学生になるから。」平然と答える健君にほとんどパニック状態。「えー！そんなこと言わずに中学生になってからもやってよ。」「ダメ!」「えー！日曜日に侍者のいないミサなんて考えられない。お願い…」「ダメ!」そんな窮地を救ってくれたのが愛らしい天使たちでした。「あのさー、健君が 4 月からしないというの。マリア様の水色の帯のついた侍者服を作るから侍者しない?」「やるやる!」あとは皆さんご存じのように侍者の隆盛時代を迎えたのでした。

第8代 2001年4月から2007年4月11日
主任司祭 サンタマリア・ジュゼッペ神父



玉里カトリック教会の皆様

教会発足 50 周年記念おめでとうございます

私は Santamaria Giuseppe 神父です、玉里教会の主任司祭として務めさせて頂きましてありがとうございました。2001 年聖週間直前種子島教会から参りまして、以前の志布志や種子島教会より信徒が多い教会でした。その年の復活祭は教会内にしても吉野公園にしてもたくさんの信徒にかこまれて楽しくて素晴らしいキリストのご復活の祝いでした。それから教会の建物ももっと教会らしくするためにまず正面の屋根の上に鐘楼を作りましようと思って当時の壮年会のかたがたと相談して皆力をあわせて可愛い手作りの鐘楼が出来上がりました、その中に私は種子島から持ってきた小さな鐘が吊るされて日曜日のミサがはじまる前に鳴るようになりました。教会内にはほとんどご像やご絵がなくて鹿児島純心聖母会 Sr.佐藤にお願いして聖イコンのスタイルで聖ペトロ、パウロなど奇麗に描いてくださいました。教会外の周りに小さな蘇鉄の庭がありました、しかし花壇も木もなかったので私は相談せずに勝手にコンクリートを破って花や果樹を植えさせてもらいました。毎日曜日皆様に合うのを待ち侘びていました、みんなが親切で典礼に励んで何か問題が起こったらそれを乗り越えるように協力されました。皆様のおかげでたのしい 6 年間でした。玉里教会がそこに集うだれにとっても生きる力と希望の恵みを得ることのできる場、いのちの泉となりますようにお祈りを申し上げます。

☆2013年10月から2014年3月
教会管理者 寝占教之神父



祝・玉里教会 50 周年

皆さま、50 周年おめでとうございます。

私は 10 年前しばらくの間、日曜日のミサを司式させていただきました。ミサ直前に到着する私をいつも温かく迎えてくださいました。祭服等も準備され香部屋係の心遣いが感じられました。ミサ後も教会学校があり有志の方々が子供たちに懸命に接していらっしゃいました。何か教会の原点を見る思いでした。

私は、今、静かな環境の元に居ます。皆さまも長い信仰生活の中で色んなことがあると思います。時には静かな時間をつくり新たな力を神様に願ってください。重ねて皆さまおめでとうございます。

第10代 2013年2月13日から2013年9月
主任司祭 丸野六雄神父



丸野六雄神父

「ネガティブ・ケイバビリティ」

『屋根裏部屋』

私は直ぐに『屋根裏部屋』に案内される。

黄色人種の為である。最初は、またか？と嫌がっていたが、屋根裏部屋には、宝物が置き忘れていることを知ってから、うれしい配置であることが分かった。カナダでの最初の研修の時も、そうでした。(宿泊費が高いので、研修の時は、講師の先生の自宅に参加者は分散して宿泊します。)屋根裏部屋は、排水洗面所もなく、階段も普通の半分の幅で、荷物を持ち上げるのも大変である。処がである、前に宿泊した方が、置き忘れて行った本が、非常に貴重なものが多く、最初に見つけたのが、19世紀イギリスの詩人ジョン・キーツの生涯を辿ることから始まって、彼の思索の仕方が懇切丁寧に書かれていたのである、その本の題名が「ネガティブ・ケイバビリティ」であった。そこには詩作の際の方法が書かれてあった。

詩作の際に自分を空っぽにして、対象を見つめ続けることの大切さを言い表す言葉が『ネガティブ・ケイバビリティ』という言葉であった。

『ネガティブ・ケイバビリティ』この二語を見つけ、覚えただけで、北欧の留学は十分であった。「何かできる能力ではなく、『出来ない能力状況を受け留める』ともいえる。即ち、『答えの出ない事態に耐える力』という意味であることが分かるまで、帰国後7年が過ぎました。

丁度、玉里教会に赴任中でした。前任者の黄色いちゅリップに迎えられた玉里教会で、新しく新教会の建設を信徒の方達に提案しているときでした。「すぐには答え出ない、どうにも対処しようのない事態に絶える能力」を問われている時でした。

東京の麹町の研修所で心理療法家として開業をしている時に、「どうにか治さないと、と思っても、出来ることは限られている」のを実感していた時と同じです。「心理療法家」として時間をかけて自分との折り合いをつけることが必要だという時と同じ体験を味わっていた時と同じ体験でした。「心理療法家」にもとめられるのは、直ぐには治せないことを受け入れて、患者の歩む永い道のりに連れ添う事。直ちに解決できない状況につき合える主一つ能力。そう思えたら、肝が据わります。患者を診る際に欠かせない「共感」の土台となる考え方として、詩人の生んだ言葉が、医学の世界で新たな生命を与えられる。

教育や介護に携わる人にも知って欲しいという「人と人とが接するところのほんたいは、おいそれとかいけつできなくて当たり前。」無力感を覚えそうになった時、この言葉が支えになる人が多いです。私も垂水教会で体験させてもらいました。

第11代 2014年4月から2019年3月

主任司祭 小隈憲士神父



小隈憲士神父

ひとつの信仰共同体(キリストの神秘体)の歩みの歴史は、魂の救いの働きの実りとして、救いの歴史の中にしっかりと刻まれます。50年の歩みは神の民全体の喜びです。その歩みの中で、短い期間でも主の働きに協力し、神の民に仕える喜びを与えて下さった神と共同体の皆さんに心から感謝します。私は司祭叙階後(辞令はザビエル教会の助任司祭でしたが)、玉里教会で代理として4月から7月までの数ヶ月という短い間、司祭としての小さな一歩を踏み始めました。そして、信仰の成熟した大人の信仰共同体の中で育てられました。また、叙階30周年をこの共同体の皆さんと共に祝うことができたのは、私にとって幸いであり、大きな喜びとなりました。目には見えない霊的な実りは、信仰共同体の一人ひとりを養い育て、これからも成長し続けることを信じています。

☆2019年4月から2020年3月 教会管理者

第12代 2020年4月から2022年4月

主任司祭 イ・ピョンドク神父



初雪、初出会い、初キスなど「初」という言葉がついた単語はいつも心をときめかせます。初任地、私もわくわくする気持ちで玉里教会の生活を始めました。玉里教会での生活を振り返ってみると、主任神父として未熟な私はいろいろな面で教会で右往左往していました。それにもかかわらず、そこを離れて次の任務地に行く私に「玉里教会で頑張ったので栄転(??)される神父様のために拍手で送りましょう。」と応援して下さった信者の方々に、もう一度感謝を伝えます。

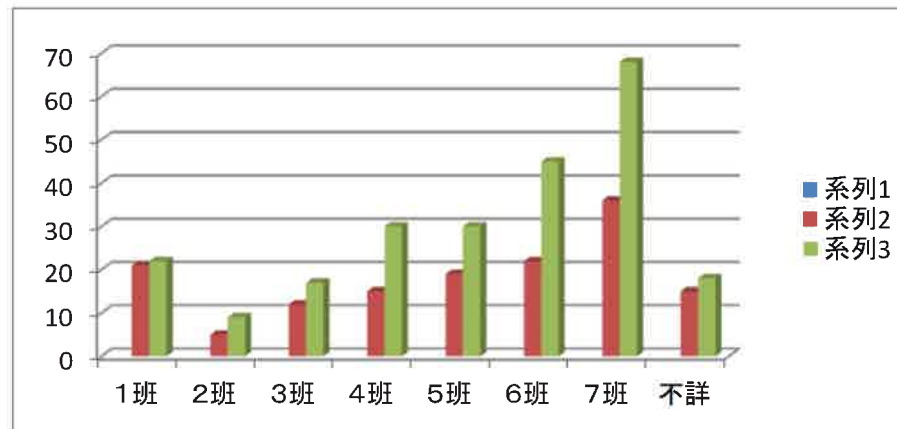
「神様が決めて示されたように建てられた(ヘブライ8、5参照)玉里教会が50歳の誕生日をお迎えしました。お祝いの言葉を申し上げます。神様との出会いの場、信者と信者の出会いの場、自分自身との出会いの場であるこの教会が、未熟な私を温かく包み込んでくださった玉里教会の信者さんたちと共に50周年を越えて、そして100周年、200周年に向けて進むことができるよう私も祈ります。

主任司祭 泉 浩二神父

役員名	主任司祭	泉 浩二
	信徒総代	藤山 義和
	副総代	藤山 喜和義
	副総代	崎山 弥生
	書記	外山 映子

グループ編成		信徒数
Aグループ	1・2・5班	61
Bグループ	3・4班	47
Cグループ	6・7班	113

	世帯数	信徒数
1班	21	22
2班	5	9
3班	12	17
4班	15	30
5班	19	30
6班	22	45
7班	36	68
不詳	15	18
合計	130	221



カトリック玉里教会
司牧評議会発行



カトリック玉里教会小教区発足 50 周年記念史

制作 50 周年記念実行委員会 2023